



2010年09月26日



【先週のメッセージより】 ルカ10:25~37

行って同じようにしなさい

良きサマリヤ人のたとえ

●昔のアメリカ人は学校で良きサマリヤ人の話しを聞いて育った。彼らの様々な行動様式は、幼い頃から受けていた聖書教育によるところが大きかった。実際、子供の

頃にサマリヤ人の話しを聞くのは素晴らしい。なぜなら、子供は周りの大人たちの模範に倣い、何かを当たり前と思えばそのように行うことができるようになるからである。

●これに対して、大人は損得勘定をし、保身をまず考える。だからこそ、主イエスは半死の旅人を見捨てた祭司とレビ人について語られたのだ。祭司はギャラリー（観客）がいたならば、レビ人は、昼間の大通りでの出来事だったなら助けたであろう。しかし、誰も見ていない所でこそ、人の値打ちは計られる。もし、人間中心的にサマリヤ人を実行しようとする、見返りの期待、褒められたい等の欲求が生じるばかりでなく、どこかで自分の時間を無駄にした、自分の時間の方が重要だと考え始め手抜きの危険すら出てくる。人間は自己犠牲的に生き続けるだけの

力を残念ながら内に持っていない。自分の力で生きる人は「乾電池」で動く機械にたとえることができる。電池が切れると動かなくなる。



●一方、キリストチャンは壁のコンセントにつながっている機械にたとえられることができるだろう。壁の向こうはナイアガラの滝、石炭／原

子力発電所等、電池とは比べ物にならない無尽蔵のエネルギーの供給源がある。キリストチャンは神の子として、潤沢で永遠のエネルギーを神より受けることができるのである。

●何時でも「良きサマリヤ人」になることができるように：

- ・デボーション時に「今日、助けを必要とする人がいたら、すぐに助けることができるように導いてください。」と祈る。
- ・助けを必要としている人に出会ったなら、神が私に助けるようにと送られた人だと認識する。
- ・全て神の栄光のために行なう。
- ・生きるためには自分に死ぬという原則を思い起す。■

牧師が子供の頃、旅先で出会ったサマリヤ人の思い出：このシボレーの屋根に満載された荷物が風で荷崩れした時に、見ず知らずのアメリカ人が荷物を彼のステーションワゴンに入れて助けてくれた…。

【今週の暗唱聖句】 第一ペテロ4：10

それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。

●私たちはそれぞれ、キリストのからだを建て上げるために、役割を与えられている。その役割を果たすため



に、神は新生したクリスチャンたち一人一人に、霊的賜物を授けてくださった。

●賜物カタログは聖書のどこにあるか？ 賜物は12しかない、ということではないが、色々便利な「12」の数を覚えておこう。賜物リストは、ローマ12章、Iコリント12章、さらにエペソ4章11-12節に出て来る。

●さて、人は神から様々な賜物を

受けている。人間は神の性質を頂いている存在なので、与えられている全ての能力（得意なことも秀でている能力も）は神

のために用いることが求められている。と同時に、今までは、できないと思っていたことや自分には向いていないのではなかろうか、などと思ったことでも、成し遂げることができるように、神は新たな能力、超自然的な能力を人に与えられるのである。「神の力によってこんなことをさせてもらえるようになった」と喜ぶ時、栄光が神に帰されるためである。■

【今週の英語】

I find it salutary to ask myself again and again, "Have my prayers spelled out what is in the Lord's prayer?" Also I have found amplifying and specifying each clause in the Lord's Prayer is an infallible way to restart when I get stuck or when I am struck dumb by the feeling that all I have to say to God is empty and meaningless.

私の祈りは「主の祈り」に示されている内容を反映しているだろうか、と自らに問うことはためになる。さらに祈りが壁に突き当たったり、神に語っている内容が空しく無意味となったりしてしまった時、主の祈りの一節一節をふくらませ、具体化させるという方法は、確実に祈りを再起動させることができることを発見した。



【グリニッチの教会が御霊で満たされるなら…】

ルカ4:14に「イエスは御霊の力を帯びてガリラヤに帰られた。すると、その評判が回り一帯に、くまなく広まった。」とある。もしグリニッチの教会員たちが御霊に満たされるなら、「グリニッチの信徒たちは御霊の力を帯びてグリニッチ、ウェストチェスター、コネチカットに帰った。すると、その評判が回り一帯に、くまなく広まった。」とならないであろうか。祈っていこう。